

★事業所における自己評価表（公表）

公表：平成31年3月6日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 チャイルド・ホープ上小鳥

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		【改善すべき点】 玄関に2段の段差があるが、特に工夫をしていない 【改善内容】 もう少し段差を少なくする工夫をしたいと思っている	
業務改善	④ 業務改善を進めるため、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか		○		【改善すべき点】 広く職員間でその時々の問題点を検討し改善するはしていた。ただ、充実した業務改善ではなかった 【改善目標】 内容の充実した業務改善を進めるために、月に1つは目標設定し、PDCAサイクルを広く職員間で行っていく	
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等により保護者へのアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			【改善すべき点】 アンケート結果から分析した保護者の意向等を検討し改善はしていた。ただ、明確な目標設定をする等の充実した業務改善ではなかった 【改善目標】 アンケート結果から保護者の意向等を把握分析することで明確な目標設定を行い、PDCAサイクルを広く職員間で進めていく	
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	【改善すべき点】 2事業所で毎月会議を行うが、問題点は話し合っていたが、自己評価表を用いての評価をお互い行っていないかった。 【改善内容】 2事業所の会議で今後はお互いを自己評価表に沿って、評価し合い、評価結果を業務改善につなげていく	
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				年間カレンダーを作り、職員の法の遵守の為のマニュアルの見直しと研修をセットにして確実に資質向上ができるようにしている

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善点	工夫しているところ	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	○				
	⑬	平日、休日、長期休業期間に応じて課題を決めて細やかに設定して支援をしているか		○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画書を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認をしているか。	○				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		児童別に個別支援計画書に沿ったチェック項目表を作成し、それが日々の記録になっており、特記出来るようになっている。児童発達支援管理責任者が1日の終わりにその記録をチェックし、問題点等を把握し、翌日職員間で問題点等を共有できるように職員に説明をしている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童別に個別支援計画書に沿ったチェック項目表を作成し、それが日々の記録になっており、支援の検証・改善につなげようになっている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善点	工夫しているところ
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		【改善すべき点】児童の今日の様子等の情報共有はしているが、年間計画や行事予定等の資料は確実に配布はしていないなかった 【改善内容】年間行事や行事予定を確実に学校へ配布する	児童発達支援管理責任者を1週間で全ての児童の学校に行けるように配慮したり、特に問題が起きている児童の所には必ずその児童の先生と会えるように送迎面での工夫をする。

保護者や関係機関との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				難病指定をうけているお子さんについては保護者との間で、発作が起きる前の兆候や発作が起きた場合の平日、土曜日別の搬送先を伺ったり、担当医の名前、詳細な薬の把握等を行っている。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園等、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				就学前のお子さんについては保育園等の担任の先生に連絡を取り、どのように先生は気をつけて接しられてきたか、詳細に聞いている
	②④	学校を卒業して、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携して、助言や研修を受けているか	○				可能な限り研修に参加している
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		【改善すべき点】幅広くは行っていないかった 【改善内容】大学生だけでなく、高校生との交流も図りたいと考えている。	学校のクラブ（ジャグリング）を招き、健常児との交流はなかった。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	【改善すべき点】行っていないかった 【改善内容】年間計画を立てて、研修等の機会を設けたいと思っている	
		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善点	工夫しているところ
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○				児童発達支援管理責任者を1週間で全ての児童の保護者宅に行けるように配慮したり、特に問題が起きている児童の所には必ずその保護者と会えるように送迎の工夫をする。	
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				同上	
③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				ご契約時に1時間30分位かけて、詳細に説明している（事前に必要時間は伝えている）	
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○				悩んでいるようなメールがきた場合はなるべくお送りの際にその保護者宅に児童発達支援管理責任者がいくように送迎を組み合わせ、直接お話しができるようにしている	

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携が支援しているか。	○			年2回は保護者会を開催している。2つの柱が有り、1つは保護者にとって役立つ情報を発信する、もう一つは自由に保護者間でお話しができる時間を設け保護者のストレス解消や連携が行えるように支援している	
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			メールの文面等で苦情にはないが、ご不満があるのかな、と言うときはすぐ管理者が連絡をとり、対応している。	
	③④	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2ヶ月に1回、子どもの活動の写真とそれに説明文を添えて、各保護者に配布している。	
	③⑤	個人情報に十分に注意しているか。	○				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	<p>【改善すべき点】近隣の方々には年2回ござあいさつに伺い、活動内容を口頭で伝えていたが、地域の方々を招待する等はしていなかった</p> <p>【改善内容】地域住民にも広報していればよいと考えている。</p>	施設の行事を地域の保護者に広報し、参加してもらった	
		チェック項目	はい	どちらとも言	いいえ	改善点	工夫しているところ
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者周知しているか	○				年1回はマニュアルの見直し→職員の訓練等→マニュアルや訓練内容を保護者へ連絡、の繰り返しを行っている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	○				同上
	④①	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				同上
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明して了解を得た上で、放課後等セイサービス計画に記載しているか	○				同上
	④③	食物アレルギーの子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				

④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。		○	<p>【改善すべき点】</p> <p>しばらくヒヤリハット事例がないので、意識が薄くなっているような感じがある</p> <p>【改善内容】</p> <p>年間計画を立てて、今までにあった事例とそれに対する対策の振り返りを行い、職員の意識向上に努める。</p>	
----	-----------------------------	--	---	---	--